

『マルタの鷹』語注 補遺

『マルタの鷹』本文の頁・行数はライブラリー・オヴ・アメリカ版 (*Complete Novels* [New York: Library of America, 1999]) に基づく。さらに、最も普及していると思われるヴィンテージ版 (New York: Vintage, 1992) の頁数を 〈 〉 内に付す。

〈参照辞典略形〉 **DAS**: Robert L. Chapman, ed., *Dictionary of American Slang*, 3rd edition (New York: HarperCollins, 1995) / **DSUE**: Paul Beale ed., *A Dictionary of Slang and Unconventional English*, 8th edition (London: Routledge, 2002) / **LDoCE**: *Longman Dictionary of Contemporary English* 5th Revised Edition (London: Pearson Longman, 2009) / **New Partridge**: Tom Dalzell, Terry Victor ed., *The New Partridge Dictionary of Slang and Unconventional English* 9th Edition (London: Routledge, 2005) / **NOAD**: Erin Mckean ed., *New Oxford American Dictionary* 2nd Edition (Oxford: Oxford University Press, 2005) / **ODMS**: John Ayto, John Simpson, *The Oxford Dictionary of Modern Slang* (Oxford: Oxford University Press, 2010) / **OED**: *Oxford English Dictionary Online* (Oxford: Oxford University Press) / **RH**: *The Random House Dictionary of the English Language*, 2nd Edition (New York: Random House, 1987) / **RHHDAS**: J. E. Lighter ed., *Random House Historical Dictionary of American Slang* (New York: Random House, 1994, 1997) / **Routledge**: Tom Dalzell ed. *The Routledge Dictionary of Modern American Slang and Unconventional English* (London: Routledge, 2008) / **Webster3**: *Webster's Third New International Dictionary* (Merriam-Webster, 1993) / **クロノペディア**: ジョン・エイト著、江藤秀一・隈元貞広他訳『20世紀クロノペディア——新英単語で読む100年』(ゆまに書房、2001年) / **ジーニアス**: 小西友七・南出康世編集主幹『ジーニアス英和大辞典』(大修館書店、2001年) / **商品名辞典**: 山田政美編著『英和商品名辞典』(研究社、1990年) / **大英和**: 竹林滋編者代表『研究社 新英和大辞典 第6版』(研究社、2002年) / **大辞泉**: 松村明監修『大辞泉 増補・新装版』(小学館、1998年) / **ファッション辞典**: C・M・キャラシベッタ著、石井慶一他訳『新版 フェアチャイルド・ファッション辞典』(鎌倉書房、1992年) / **ランダムハウス**: 小学館ランダムハウス英和大辞典第2版編集委員会『小学館ランダムハウス英和大辞典 第2版』(小学

館、1993年) / リーダーズ: 松田徳一郎編『リーダーズ英和辞典第2版』(研究社、1999年) / リーダーズ・プラス: 松田徳一郎他編『リーダーズ・プラス』(研究社、1994年)

序文 (モダン・ライブラリー版)

965.4 **little runt** runt = 「[軽蔑的に] 小人、ちび」(『大英和』)。

965.6 **stick that guy up again** stick up = To rob, esp at gunpoint (DAS).

第1章

391.16-17 <3.15> **she's a knockout.** knockout = a stunningly attractive member of the opposite sex. RHHDAS に用例としてあげられている。

392.1-2 <4.13-15> **The steep rounded slope of his shoulders made his body seem almost conical — no broader than it was thick** 「なで肩」というのはここでは筋肉の盛り上がりを描写する表現のため、必ずしも「女性的」な印象を与えない。ダッシュ以下は面白い表現だが、胸板の厚さを強調している。

392.9-10 <4.22-23> **The tappity-tap-tap and the thin bell and muffled whir of Effie Perine's typewriting** それぞれ、タイプライターのキーを打つ音、改行を促すベルの音、用紙送りの音。

393.14 <5.29> **General Delivery** general delivery = 「(郵便局の) 局留め郵便課」(『ランダムハウス』)。

394.25-26 <7.8-9> **as many years past forty as Spade was past thirty** スペードが30歳を超えているのと同じ程度に、アーチャーは40歳を超えているということ。

394.30-31 <7.13> **The chances are he won't.** chance = 「《口語》[通例 (the) ~ s] 起こる強い見込み、公算」(『大英和』)。

395.11-12 <7.30-32> **If she comes with him . . . , so much the better.** So much the better = 「それならますます結構だ」(『ランダムハウス』)。

396.1 <7.24> **Can he cover up by marrying her?** cover up = to conceal something scandalous or criminal.¹⁾

397.15 <10.9> **Well, don't dynamite her too much. . . .** この文(とりわけ “dynamite”)をどう解するかは、長らく問題となってきた。私自身の解釈は本文に組みこまれているとして、ここではこれまでの経緯を紹介する。各務三郎は、「熱を上げる」などと訳されてきたのは誤訳であり、「搾りとる」が正しいとしている(この解釈は、その後の “Sweet!” [397.17] や “You'll play hell with her” [397.21] とも連動するが、これら

をすべて金の問題にのみ還元するのは難しいだろう。²⁾ 小鷹信光は、その解釈を意識しつつも「あまり調子に乗るな」といった感じだとして、³⁾ ウィリアム・ノーランから“roughen up”の意味だと聞いたこともあってか、⁴⁾ 現在の翻訳(ハヤカワ・ミステリ文庫)では「お手やわらかに頼む」としている。リチャード・レイマンは、この一節が *RHHDAS* に “to speak aggressively and insistently in an attempt to sell, persuade, impress, or seduce” を意味する語の用例としてあげられていることを指摘しつつも、スペードの用法にはより粗野な(性的な)ニュアンスが含まれていると述べている。⁵⁾

397.17 <10.9> Sweet! sweet = 「《口語》きれいな (pretty)、かわいらしい (lovely)、魅力的な (charming)」(『大英和』)。雑誌版では “She’s a sweet job” となっていた。⁶⁾ job = a man or woman, esp. in regard to toughness or sexual attractiveness (*RHHDAS*).

397.21 <10.13> You’ll play hell with her, you will. to play hell with = to cause severe trouble for someone or something (*New Partridge*).

第2章

398.14 <11.14> Alcatraz 刑務所で有名となった島だが、連邦刑務所が設置されたのは1934年(1963年に閉鎖)。『マルタの鷹』の時代にはアメリカ陸軍が駐屯していた。⁷⁾

400.38 <14.19> One pill. pill = 「《俗・戯言》大砲[小銃]の弾丸」(『大英和』)。雑誌版では “One shot” となっていた。⁸⁾

401.13-14 <14.33> a machine turning threw headlights up here machine = an automobile. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

402.11 <15.34> Don’t crowd me. crowd = to put pressure on (someone). *RHHDAS* に用例としてあげられている。

403.29-30 <17.18> Success to crime drink success to ~ 「~の成功を祝って乾杯する」(『ランダムハウス』)。

404.18-19 <18.11> Turn the dump upside down if you want. I won’t squawk — if you’ve got a search-warrant. dump = a place of business or residence irrespective of quality or state of repair; place. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

404.31 <18.24> Talk turkey. talk turkey = To speak candidly and cogently (*DAS*).

404.38 <18.30-31> you as good as told as good as = 「(……したも) 同然で」(『大英和』)。

405.13 <19.9-10> What are you sucking around for? suck around =

- To loiter about; frequent a place, esp with a view to currying favor (*DAS*).
- 407.17 <21.18-19> **I got up on my hind legs** on one's hind legs = 「攻撃 [好戦] 的になって、憤然として、怒って」(『大英和』)。
- 407.18-19 <21.20> **Having Miles knocked off** knock off = To kill; murder; assassinate (*DAS*).
- 407.19 <21.21> **and then you birds cracking foxy** bird = an individual; fellow; person (*RHHDAS*). crack = to say; (*intrans.*) to talk; speak; speak up. *RHHDAS* に用例としてあげられている。
- 407.25-27 <21.27-29> **And you might just as well know it — if you don't — that he died** 「知らないというのなら教えといてやるが……」くらいの意味。
- 407.33 <21.35> **You're not to ready to pinch me** pinch = To arrest (*DAS*).
- 408.31 <23.1> **most of the breaks** break = fair treatment, simple kindness; relief (*RHHDAS*).
- 408.33 <23.2> **from nailing you** nail = to catch (someone); apprehend; place under arrest (*RHHDAS*).

第3章

- 409.11-12 <24.10> **Don't be cranky, Sam** cranky = irritable; crotchety. *RHHDAS* に用例としてあげられている。
- 409.33 <25.11-12> **He drew his lips back over his teeth in an impatient grimace** “lip” は口の周辺を含む。しかめ面をしたのでその部分が横に引っ張られ、歯が隠れるような感じになっていると思われる。
- 411.20-21 <27.2> **how did you and the widow make out?** “make out” はここでは “get along” くらいの意味。“To engage in amorous kissing or caressing” という今日では最も普通の用法が現れたのは、*RHHDAS* によれば1949年である。
- 411.31 <27.12> **Who do you think I shot?** 「きみは俺が誰を撃ったと思う?」。アイヴァはスペードがアーチャーを撃ったと考えており、警察はサーズビーを撃ったと考えている、という流れで出てきた言葉。
- 412.6 <27.23-24> **you've played around with her** play around with = To flirt or dally with; have a sexual involvement with (*DAS*).
- 412.21 <28.4> **Her smile held nothing but amusement.** この “Her/Him” に関し、参考までにさらに付言しておけば、単行本においては版によって異同がある。手元にあるもので確認すれば、初版に基づく

Library of America に加え、1934 年の Modern Library、1944 年の Pocket Books、1957 年の Permabooks でも “Her smile” となっているが、おそらく同 1957 年に Vintage から出たものに基づいている 1972 年のやはり Vintage 版以降は、Pan Books (1975)、Wings Books (1980)、Vintage (1992)、Everyman’s Library (2000)、Orion Books (2002) など、どれも “His smile” となっている。おそらく Vintage 版で改訂がなされたと推測されるが、ここで変化の契機 (の根拠) とした 1972 年版の校訂が、それ自体としては評判がよくないことは付記しておくべきだろう。⁹⁾

412.24 <28.6-7> a nice rattle-brained angel rattlebrain = A silly or stupid person (*DAS*).

412.28 <28.11> Are you telling me? “Really?” くらいの意味。実際、1941 年の映画の脚本においては、この台詞に対してエフィが頷いている。¹⁰⁾

413.10 <28.32> this what’s-his-name? whatshisname = used to refer to a person whose name one cannot recall, does not know, or does not wish to specify (*NOAD*).

414.5 <29.29> the *Call* 物語現在での正式名称は *The San Francisco Call and Post*.

414.15 <30.4-5> Can you give me some dope . . . it? dope = full, esp. inside, information of any kind; news; data. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

414.38-39 <30.25-26> she doesn’t seem to have received much, if any, mail. 「手紙は受け取ったとしても多くはなかった」ということは、ホテル側は彼女に手紙を渡した記憶がない (たくさん渡していたなら憶えている) という事だろう。

414.39-40 <30.26> The only one anybody remembers having seen her with . . . 彼女と一緒にいるのを憶えられている唯一の人物がサーズビーであるということ。記憶に残っているということは、おそらく何回か目撃されていると思われる。実際、雑誌版では “They seem to have been together a lot” という一文が付加されていた。¹¹⁾

415.3 <30.29-30> a Nash touring car 「ツーリング・カー」とは布製の幌を備えた自動車 (1920 年代には「箱形車 (closed car)」が主流になるが)。¹²⁾ チャールズ・W・ナッシュは無一物からゼネラルモーターズ (GM) の社長になった人物。1916 年に GM を去り自社を設立。1928 年現在ではフォード、GM、クライスラー、デュラントに次ぐ規模の会社であった。¹³⁾

415.4-5 <30.31> the Ambassador, Los Angeles 「アンバサダー・ホテ

ル」は1921年創業の有名なホテル(ロバート・ケネディが1968年に暗殺されたことでも知られている)。「セント・マーク(セント・フランシス)」の逗留客が次に滞在する場所として相応しい最高級ホテルである。

第4章

416.30-32 <33.9-11> you paid us . . . enough more to make it all right ブリジッドが本当のことをいっていなくても構わないくらいの金を払っていたということ。

417.5 <33.21> The hell of it 「ひどいこと、我慢ならないこと、最悪の事態」(『リーダーズ』)。

417.11 <33.23> they can go the limit go the limit = 「徹底的に[とことんまで]やる」(『大英和』)。

419.37 <36.17> I suggested that so Mr. Archer could see him. アーチャーがサーズビーを見ることができるよう、自分がそれを(サーズビーに)提案したということ。

420.32-33 <37.16-17> I've got to have some sort of a line on your Floyd Thursby. line = a piece of useful information, esp. obtained surreptitiously; confidential tip. *RHHDAS* に用例としてあげられている。雑誌版では “to know something about your . . .” となっていた。¹⁴⁾

424.8-9 <41.11> So Miles got the big one last night? get the big one = to be killed. *RHHDAS* に用例としてあげられている。雑誌版では “got his last night?” となっていた。¹⁵⁾

424.14-15 <41.16> all the same priest or lawyer all-the-same = quite the same as (*RHHDAS*). 雑誌版では “like a priest or lawyer” となっていた。¹⁶⁾

424.20-21 <41.20-21> it is a little bit thick thick = 「《口》度を越している、あんまりだ」(『リーダーズ』)。

424.25 <41.25> You're a son of a gun son of a gun = a fellow; Originally, “a soldier's bastard,” now mildly disparaging or pejorative (*New Partridge*).

424.30 <41.30> You look like you'd swallowed the canary. これは “look like the cat that ate [swallowed] the canary” (「とても満足した様子をしている、大成功をおさめたような格好をしている」(『リーダーズ』)) という慣用表現をふまえている。

424.32 <41.32> Miles would go off and die go off = To die (*DSUE*).

425.7 <42.12> seven hundred smacks smacker = A coin or banknote; spec. a dollar or pound (*ODMS*). これは “smack” (舌鼓を打つ、音を立

ててキスする) という動詞から生まれた名詞(ただし、『クロノペディア』では、カウンターや手のひらの上に金をぼんと置くさまからではないかと推測されている)。本文ではその語との類似から逆成的に“smack”が“dollar”を意味する名詞となっているのだろう。雑誌版では“smacks”の代わりに(現在でも一般的に使われる)“bucks”が用いられていた。¹⁷⁾

425.22-23 <42.27-28> His features were Levantine. “Features”は(「体つき」ではなく)「顔立ち」。

425.30-31 <42.34-35> The fragrance of chypre “Chypre”は白檀から作られる香水(しばしば石鹸などに使われる)。エリザベス朝において、この語は“mischievous sprite”を指して用いられたという指摘もある。¹⁸⁾

第5章

428.12-13 <45.12-13> the man with the pistol instructed him “with the pistol”は“the man”を修飾する形容詞句。ピストルを動かして指示したわけではない(それでは銃口が逸れてしまうことになる)。

428.24-25 <46.5-6> Spade’s right heel on the patent-leathered toes anchored the smaller man この“the patent-leathered toes”はカイロのもの(このエナメル革の靴についての言及は425.28にある)。

429.30-31 <47.10-11> United States bills of several sizes アメリカの紙幣が“small-sized notes”と呼ばれる現在のサイズに統一されたのは(作品世界における「現在」の年である)1928年。それまでは様々なサイズの紙幣が発行され、流通していた。

429.34-35 <47.14> a raggedly clipped newspaper-account 鋏などを使わず、ギザギザが残る形で(おそらく手で)切り取られている。「クリップ」で留められているわけではない。

430.2-3 <47.21> a platinum Longines watch 「ロンジン」はスイスの有名時計メーカー／ブランド。『商品名辞典』にはチャールズ・リンドバーグが1927年の「史上初の大西洋単独無着陸[水]飛行の際に同社の腕時計を携行した」とあるが、その話が一般に報道されていたとすれば、作品出版当時はなおさらよく知られたブランドであっただろう。

430.8-9 <47.27> a Southern Pacific baggage-check 「サザンパシフィック鉄道(the Southern Pacific Railroad)」はアメリカの大陸横断鉄道。1883年にカリフォルニアからニューオーリンズまでのルートが完成された(『リーダーズ・プラス』)。

431.2 <48.24-25> five-thousand-dollar offer was just hooley hooley = 「ナンセンス、ばかげたこと」(『クロノペディア』)。

431.5 <48.28> “What the hell?” the hell = in phr. What the hell! (used to express resignation or cynical acceptance). *RHHDAS* に用例としてあげられている。

431.36 <49.22-23> **You’re betting your eyes.** “To bet one’s eyes” は、最近の俗語辞典には出ていない表現だが、1921年発行の *A Dictionary of Slang and Colloquial English* に載っている、“to onlook, but to take no part in, nor bet upon the game” という定義でよいように思われる（なお、“onlook” という動詞は、意味は容易にわかるものの珍しい単語である。*OED* では “Obs. intr. and trans. to look on” とある）。

第6章

434.4 <52.3-4> **a bottle of Manhattan cocktail** 「マンハッタン」はベルモットとウィスキーのカクテル。『ガラスの鍵』のネド・ボーモンもこれを飲んでいる。

435.29-30 <54.7> **Spade had washed** “wash” は自動詞で用いられると、普通は顔か手を洗うという意味になる。ここではおそらく顔を洗ったと思われる（そのあとでシャツとカラーを換えているので）。

435.38 <54.16> **a Yale lock** 「エール錠」。アメリカ製のいわゆる「シリンダー錠」のこと。錠前職人 Linus Yale, Jr. (1821-68) が発明し、1861/65年に特許取得。アメリカでの商標登録は1907年（『商品名辞典』）。

436.5-6 <54.21-22> **She had put on a satin gown of the blue shade called Artoise that season** “called Artoise that season” は “the blue shade” を修飾（青はいわば「ブリジッドの色」である）。1928年9月の *New Yorker* のファッション欄では、“Artoise” は “the (slaty) Patou blue(s)” と説明されている（[Jean] Patou [1887-1936] は当時の有名デザイナー）。¹⁹⁾

436.6 <54.23> **chalcedony shoulder-straps** 「キヤルセドニー」は「玉髓。色彩によってそれぞれ違った名前を持ち、透明から半透明まである石英の変種」（『ファッション辞典』）。

439.30-31 <58.12-13> **it’s all for the best** 「それがいちばんいいのです」という定型表現。

439.36-37 <58.17-18> **you’re not simply fiddling around by guess and by God, . . . by guess and by God** = Orig. *Naut.* without a set course; (hence) by reliance on common sense or intuition rather than on knowledgeable technique. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

第7章

442 <61> (Title) *G in the Air* おそらくはヨハン・セバスチャン・バッハによる「G線上のアリア (“Air on the G String”）」のもじりだと思われるが、それに意味があるのかは不明。²⁰⁾

442.7-8 <61.7-8> **without any preliminary** preliminary = an action, measure, statement, etc., that precedes another to which it is introductory or preparatory. *OED* に用例としてあげられている。

442.29 <62.8-9> **a new Packard** パッカードは、恐慌期には「不況に順応して比較的安い普及車をつくり、ある程度の成功を収めた」自動車会社だが（しかし第2次大戦後の1954年には他社と合併し、1958年には倒産 [『商品名辞典』]）、²¹⁾ それ以前（つまり、フリットクラフトが同社の車を所有していた頃）は高級車の製造・販売で知られていた。

449.1-2 <68.30-31> **unless he's the one you had in Constantinople.** 「コンスタンティノープル」が国際的に「イスタンブル」と呼ばれるようになるのは1930年のことである。

451.7-8 <71.5-6> **she tried to get a divorce out of him so's she could put in with you** so's = so as. ただし、そもそも “so [that]” とするのがより一般的である。

451.12 <71.10> **he was put on the spot.** to put (someone) on the spot = to arrange for the murder of, to kill (*ODMS*).

451.19 <71.17> **You could have blipped them both.** blip = to shoot (someone). *RHHDAS* に用例としてあげられている。

451.23-24 <71.21-22> **I can give somebody else the bump and hang Thursby's on them.** give the bump = to murder. *RHHDAS* に用例としてあげられている。hang on = to make an accusation; inculcate (*DAS*).

452.14 <72.13> **Charades?** 「シャレード」とは、ジェスチャー・ゲームの1つ。身振り手振りを見て言葉をあてる遊び。

第8章

453 <73> (Title) *Horse Feathers* horse feathers = nonsense. A transparent euphemism for horseshit (*Routledge*).²²⁾

455.31-32 <76.14-15> **I don't guess we'll go wrong pulling the lot of them in.** pull in = to take (a possible criminal) to a police station (*LDoCE*).

456.8-9 <76.31> **when he was bumped off** bump off = to kill, esp. to shoot dead; (*specif.*) to murder (*RHHDAS*). 451.23-24 に付した “give the bump” についての注も参照。

- 457.7 <77.31-32> **we put it over nicely** put over = to portray someone or something, usually with some degree of deception (*Routledge*).
- 457.21 <78.11> **I dare you to take us in** take (someone) in = to take into custody, arrest (*ODMS*).
- 457.25-26 <78.15> **It's those damned bulls again.** bull = a police officer, police or private detective, or prison guard (*RHHDAS*).
- 458.18 <79.8> **You belched for help** belch = to complain, cry out, or speak out of turn. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

第9章

- 461.29 <83.9> **he overplayed his hand** overplay one's hand = to promise or try to do more than one can really do (*LDoCE*).
- 461.29-30 <83.9-10> **If I'd mixed it with him** mix it [up] = to fight, usu. with the fists; (*hence*) to argue volubly (*RHHDAS*).
- 462.7 <83.21> **by guess and by God** 439.36-37 に付した注を参照。
- 464.15 <86.2> **everybody's all steamed up about** steamed up = 「特に怒りで興奮した、あるいは奮い立った。口語」(『クロノペディア』)。
- 465.2-3 <86.27-28> **to heave a wild and unpredictable monkey-wrench into the machinery** monkey wrench = [in phrase: *throw a monkey wrench into*] to ruin or confuse (a plan or situation); sabotage. *RHHDAS* に用例としてあげられている。
- 466.37 <88.27> **Spade mashed the end of his cigarette in his plate** mash = To press or squeeze (something), esp. forcefully; to stub out or extinguish (a cigarette or cigar); to step on (the brake pedal of a car). *OED* に初出例としてあげられている。
- 467.6 <89.2> **that yarn** yarn = A story, gen. long, and often connoting the marvelous, indeed the incredible (*DSUE*).

第10章

- 470.13 <92.30> **a stubborn damned hussy** hussy = a saucy or mischievous girl (*Webster3*).
- 471.21-22 <94.4-5> **What do you think you're doing, Jack?** jack = a blockhead; jackass; jerk (*RHHDAS*).
- 471.28-29 <94.11> **Shove off** shove off = to go away (*New Partridge*).
- 472.1-2 <94.24> **That would go over big back on Seventh Avenue.** go over big = To succeed very well; be received with great approval

- (DAS). “Seventh Avenue” はファッション業界の中心として有名。
- 473.36-37 <96.26-27> If you pick a fight with her . . . I’ve got to throw in with her.** throw in = to enter into association or partnership (*Webster3*).
- 474.25-26 <97.19-20> Stay dummed-up on him** dummy up = to hold one’s tongue; shut up (*RHHDAS*).
- 474.27-28 <97.21> in the cooler** cooler = a jail or lockup (*RHHDAS*).
- 474.28-29 <97.22-23> you’ve been standing up under a police-storm** stand up = to refuse to cooperate when questioned by the police; to withstand pressure to confess (*New Partridge*).
- 475.33-34 <98.33-34> I . . . ducked out the back door.** duck [out] = To evade or escape (*DAS*).
- 476.19-20 <99.24> if I’m ever going to make heads or tails of it** make head(s) or tail(s) of = 「(通例否定文・疑問文で) . . . を理解する、訳が分かる」(『ランダムハウス』)。
- 476.36-37 <100.4-5> Are you strong enough for her** strong for = markedly prejudiced in favor of: attaching great importance to (*Webster3*).
- 476.39 <100.7> Could you put her up** put someone up = To provide lodging for (*DAS*).
- 477.3 <100.11> if you could take her in** take someone in = to receive into one’s home; provide lodgings for (a person) (*LDoCE*). なお、ヴィンテージ版では “if” が “of” と誤植されている。

第 11 章

- 479.8 <102.23> you got up on your ear** on (one’s) ear = indignant or angry; in a huff; (*broadly*) in an uproar (*RHHDAS*).
- 479.28-29 <103.6> it’d be best to say ‘no’ right across the board.** across the board = 「全面的に、一律に、均等に、すべてにわたって」(『ランダムハウス』)。
- 480.17 <103.32> Like hell you’re not** like hell = used sarcastically or ironically to express strong negation or incredulity (*RHHDAS*).
- 480.30 <104.9> Beat it** beat it = to go away; to go in a hurry (*RHHDAS*).
- 481.15 <104.32> a siphon** 炭酸水を入れる瓶。481.30 の “bubbles” は炭酸の泡である。
- 481.15 <104.34> Johnnie Walker** 1820 年創業のスコットランド John Walker & Sons Ltd. の通称、同社製のブレンドドウイスキー。1908 年発売 (『商品名辞典』)。

- 481.16 <105.1> Coronas del Ritz** Corona は 1904 年にイギリスで商標登録されたものだが、いわゆる普通の葉巻一般を指す言葉でもある(『商品名辞典』)。“Coronas del Ritz” はホテル・リッツのオリジナルブランドと推定される。1929 年 3 月 23 日号の『ニューヨーカー』によれば、これはハーバート・フーヴァー新大統領が好んだ銘柄で、就任直後、1,000 本をホテル・リッツに注文している。さらに “The Coronas del Ritz are lighter in shade than the ordinary coronas of commerce, because of a special wrapper. They have no bands and cost sixty cents each” と説明されており、前大統領カルヴィン・クーリッジ愛飲の葉巻に比べてかなり高価なものだったそうである。²³⁾
- 481.24 <105.8> I distrust a man that says when** say when = to tell someone when to stop, esp. when they are pouring a drink (*LDoCE*).
- 482.11 <105.32-33> I'll tell you right out** right out = outright (*OED*). 483.9 にも出てくる表現。
- 482.17-18 <106.4> No beating about the bush** beat around (or about) the bush = To avoid speaking directly and precisely; evade; tergiversate (*DAS*).
- 483.23-24 <107.11> by Gad** 小鷹信光によれば、「雑誌では、はげしい驚きや悪態として用いられている <God> <Jesus> <Christ> の三語が例外なく削除され、ハメットはガットマンが口ぐせのように連発する <God> を <Gad> におきかえて、たくみに削除をまぬかれている」。²⁴⁾ ちなみに、この箇所 “by Gad” は単行本で加筆されたもの。この口癖が雑誌版で最初に出てくるのは単行本では 485.4 にあたるところで、“By Gar” となっている。²⁵⁾
- 484.22-23 <108.12-13> There's not much to go by.** go by = to judge by (*LDoCE*).
- 485.37-38 <109.29> I told that punk of yours** punk = A petty hoodlum; meager minor tough or criminal (*DAS*). 本文中で言及したように、“A catamite; young companion of a sodomite; = gonsel” (*DAS*) という意味もある。
- 486.28-29 <110.22> I won't give him an even break.** even break = A fair and equal chance; honest treatment (*DAS*).
- 486.39-40 <110.33> Then you're either in or out, for keeps.** for keeps = Forever; permanently (*DAS*).

第 12 章

- 489.12-13 <113.24> San Quentin** カリフォルニア州にある、有名な重

罪者用刑務所。ハメット自身の説明によれば、初犯が服役する施設で、重犯になるとフォルサム刑務所 (Folsom) に送られることになる。²⁶⁾

489.24 <114.1> ragging her rag = To tease; banter disparagingly with (*DAS*). 雑誌版では “taunting her” とされていた。²⁷⁾

489.26 <114.2-3> get under her skin get under someone’s skin = To trouble or irritate; annoy (*DAS*).

492.38 <117.22> “Got a load,” one of the chauffeurs said. load = (among commercial drivers) a passenger or passengers. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

494.1 <118.30> Hell, Cap, I don’t remember that. cap = captain; fellow.— used esp. in direct address. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

495.8-9 <120.3-4> the gaudier the patter patter = The slang or coded language formerly used by criminals; cant. . . . Now *disused*. *OED* に (最後の) 用例としてあげられている。

496.10-11 <121.7> This will put you in solid with your boss. solid = on a friendly, favorable, or advantageous footing (often prec. by *in*) (*RH*). なお、『ランダムハウス』では「主に米話」とされている。

第 13 章

497.31-33 <123.10-12> I say that knowing that a man of your caliber . . . in his time. “say” の目的語は次の “that” という代名詞。

498.6-7 <123.19-20> you don’t remember that Suleiman the Magnificent chased them out of Rhodes in 1523? オスマントルコの皇帝スレイマン一世 (1494/95-1566) は、カール五世の最大のライバルだった。ここで言及されているのは「第 2 回ロードス島包囲戦」と呼ばれるもので、その地を追われたヨハネ騎士団をカール五世が保護したのは、スレイマンが彼らにとって共通の敵だったためである。²⁸⁾

498.10-11 <123.23-24> the Emperor Charles V スペイン王としてはカルロス一世 (Charles I) だが、やはり普通は神聖ローマ帝国皇帝のカール五世として知られているだろう (1500-58)。

498.12 <123.25> Malta, Gozo, and Tripoli マルタ島は「Sicily 島とアフリカとの間の地中海上にある島」(『ランダムハウス』) で、ゴゾ島はその北西すぐ近くにある島。トリポリは現リビア北西部の首都である——が、ここはガットマン (あるいはハメット) の記憶違いと思われる。騎士団に与えられたのはマルタ、ゴゾに加えてコミノ島——この 3 島が「マルタ群島」と呼ばれる——であり、トリポリについてはむしろ防衛

するという義務／負担を課せられた。²⁹⁾

498.26 <124.4> they were pretty well fixed. Cf. well-fixed = 「《米話》金回りがいい」(『ランダムハウス』)。

498.28-29 <124.6-7> they were rolling in wealth Cf. roll in money = To be very rich (DAS).

498.30 <124.8> they had preyed on the Saracens 本文中では「サラセン人」とそのまま訳しておいたが、「サラセン」は「中世ヨーロッパではイスラム教徒をさす言葉として用いられ、イスラム帝国・イスラム文化を、サラセン帝国・サラセン文化などと呼んだ」(大辞泉)。

498.33-34 <124.11> the Templars 「 Templar [聖堂] 騎士団」は「1118年ごろ Jerusalem で十字軍戦士によって設立され、[ローマ教皇クレメンス五世によって] 1312年に解散させられた」(『ランダムハウス』)。なお、Templar 騎士団の財産はほとんどヨハネ騎士団に移譲されることになった。³⁰⁾

499.2 <124.18> a glorious golden falcon 雑誌版では単に “a glorious falcon”³¹⁾ となっていた。この “golden” は現在では通例「金色の」という意味だが、ここでは彫像の価値を高めるために付されたと考え、「金製の (gold)」と解すべきだろう。

499.11-15 <124.27-30> The archives of the Order . . . this jeweled falcon. この3つの文献については未詳。続いて同じ段落に出てくる文献は別物と思われる(そもそも2つしかない)。

499.15-16 <124.31> J. Delaville Le Roulx's *Les Archives de l'Ordre de Saint-Jean* 1883年出版の、騎士団に関する有名な文献。³²⁾

499.18-19 <124.34> Paoli's *Dell' origine ed istituto del sacro militar ordine* Sebastiano Paoli による2巻本、*Codice diplomatico del sacro militare ordine Gerosolimitano oggi di Malta* (1733, 1737) のこと。³³⁾

499.22 <125.2> Grand Master Villiers de l'Isle d'Adam 騎士団がマルタ島に移った頃の総長(なお、“d'Adam” は “Adam” が正しい)(1464-1534)。³⁴⁾ フランス作家オーギュスト・ヴィリエ・ド・リラダンの祖先である。騎士団の総長 (Master) を指して “Grand Master” と一般に呼ぶようになったのは近代以降のことのようである。³⁵⁾

499.25-26 <125.5> a French knight named Cormier or Corvere 未詳。これは「ガットマンが列挙しているうち唯一はっきりしないものだが、ハメットが騎士団について書かれた文献から名前を取ったことはありそうなことである」。³⁶⁾

499.29 <125.8> Barbarossa, Redbeard, Khair-ed-Din 「バルバロッサ (d.1546)」は「バーバリ海岸の海賊、のちにオスマントルコの提督; 本

名 Khayr ad-Dīn といい、Barbarossa はヨーロッパ人がつけたあだ名」(『リーダーズ・プラス』)。「バルバロッサ」はイタリア語で「赤髭」の意。

499.32-33 <125.11> the French historian Pierre Dan 1631年にはアルジェにいた歴史家(1580-1649)。著書に *Histoire de Barbarie, et de ses corsaires . . .* (1637) など。³⁷⁾

499.35-36 <125.14> Sir Francis Verney, the English adventurer 地中海で活動していた著名な旅行者／冒険家。ガットマンのいうように(500)、1615年にメッシーナの病院で死ぬ。³⁸⁾

499.39-500.1 <125.17-18> Lady Frances Verney's *Memoirs of the Verney Family during the Seventeenth Century* Frances Parthenope Verney (1819-90) はフローレンス・ナイチンゲールの姉。この本は1892年から99年にかけて4巻本で(死後)出版、1904年には2巻本の縮約版が出ている。³⁹⁾

500.3 <125.20> He was stony broke. stony-broke = Completely without money (ODMS). “Also stone-broke”ともあり、実際、雑誌版では“stone broke”となっていた。⁴⁰⁾

500.4-7 <125.22-24> it came into the possession there of Victor Amadeus II some time after he became king in 1713, and it was one of his gifts to his wife when he married in Chambéry after abdicating. ヴィットーリオ・アメデーオ二世(1666-1732)はサヴォイア公。スペイン継承戦争の終結後、ユトレヒト条約により1713年にシチリア王になる。退位後に(フランス東部)シャンベリで迎えた后とあるのは後妻(the Contessa di San Sebastiano)で、彼女に唆されるようにして復位を望むも失敗し、失意のうちに死ぬことになる。⁴¹⁾

500.8 <125.25-26> Carutti, the author of *Storia del Regno di Vittorio Amadeo II* Domenico Caruttiによる実在の歴史書(1863)。⁴²⁾

500.13-15 <125.30-31> the father of Don José Monino y Redondo, Count of Floridablanca フロリダブランカ伯爵ホセ・モニーニョ・イ・レドンド(1728-1808)はスペインの首相(1777-92)だが(なお、“Monino”は“Moñino”が正しい)、その父親に関しては退役軍人であったことくらいしか知られていない。⁴³⁾

500.15 <125.31-32> Charles III's chief minister カルロス三世(1716-88)はスペイン王(1759-88)。

500.16-17 <125.33> the end of the Carlist War in '40 雑誌版では“1840”であったのが省略形とされたので少しわかりにくいだが、⁴⁴⁾ ここでいわれているのは第1次カルリスタ戦争(1833-39)。Carlist = 「カルロ

ス党員: スペインの Don Carlos およびその後継者たちのスペイン王位継承を支持する人」(『ランダムハウス』)。

500.35 <126.15-16> **I got wind of it** get wind of = to become aware of: learn of through hints or rumors (*Webster3*).

501.4-5 <126.23-24> **the Italian or German *langues* of the Sovereign Order of Malta** langue = language = A national division or branch of a military and religious order, as the Hospitallers, etc. (*OED*).

501.26-27 <127.10-11> **at least not anything less than crown jewels** crown jewels = the jewels which form part of the regalia (*OED*).

502.11-13 <127.33-128.1> **I don't see . . . except by right of possession.** by [or in] right of = 「……の理由で; ……の権限で」(『ランダムハウス』)。

503.29-30 <129.19-20> **the dingus is worth two million** dingus = a thing; device; whatchamacallit. *RHHDAS* に用例として引かれている。本文中で述べたように、“the penis” の意味もある (*RHHDAS*)。ハメットはこの語を好み、様々なものを指して使った。⁴⁵⁾

第14章

505.32-33 <132.10-11> **Oh, you're the sister of the boy who stood on the burning deck?** Felicia Dorothea Hemans (1793-1835) の「ナイルの海戦」に材を取った短詩 “Casabianca” (1829)—— “The boy stood on the burning deck” という最初の行はとりわけ有名——をふまえた言葉。ヘマンズは「英国の詩人; 優しいセンチメンタルな作品が多く、米国で人気があった」(『リーダーズ・プラス』)。

506.36 <133.12-13> **he fed me the junk.** junk = narcotic drugs, esp. opiates (*RHHDAS*).

507.13 <133.28> **he's good people** people = 「《無冠詞で単数扱い》《米俗》人」(『ランダムハウス』)。

507.23-24 <134.2-3> **The rest of the history . . . a trained interviewer.** ガットマンから聞いた話を、人名と書名以外は完全に正確に再現しているということ(彫像がパリの現れてからの話をしているわけではない)。

507.31-32 <134.10> **Or is it the bunk?** bunk = nonsense; bosh (*RHHDAS*).

507.33-34 <134.12-13> **make him keep it under his hat.** under [or beneath] (one's) [or the] hat = secret; to be held in confidence.— often constr. with *keep* (*RHHDAS*).

508.20-21 <135.4> **somebody maced you** mace = to strike with or as if

with a mace (*Webster3*).

508.32-33 <135.15-16> **giving his room a casing** case = to scrutinize, watch closely, survey, etc., esp. for the purpose of planning a crime (*RHHDAS*).

508.37-38 <135.20-21> **What's the honest-to-God on this guy, Sam?** honest-to-God = the complete and utter truth.— constr. with *the*. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

509.2 <135.23> **I'm not holding out.** Cf. hold out on a person = <人に> 隠し事をする、知らせない」(『ランダムハウス』)。

509.8 <135.28> **shoved Miles across** shove = To kill (*DAS*).

509.21-22 <136.6-7> **a gladstone bag** Gladstone bag = a bag like a briefcase having two equal compartments joined by a hinge . . . named after W.E. Gladstone, who was noted for the amount of traveling he undertook when electioneering (*NOAD*).

512.8 <139.4> **out-and-out fakes** out-and-out = Thorough; complete (*DAS*).

第 15 章

513.17-18 <140.17-18> **What've you got to beef about?** beef = to talk loudly or to no purpose; (*specif.*) (and now exclusively) to complain (*RHHDAS*).

513.18-19 <140.18> **You came out on top.** come out on top = To win (*DAS*).

513.19-20 <141.1-2> **You're just making a lot of grief for yourself.** grief = trouble or annoyance. Now *colloq.* (*RHHDAS*).

513.23-25 <141.5-6> **With every bull . . . a little more won't hurt.** この文章の主語 “a little more” が指すのは前項の “a lot of grief” ということになる。

514.30 <142.12> **That's out.** out = 「《話》考慮に値しない、問題外の」(『ランダムハウス』)。

514.31-32 <142.12-13> **You'd think you wasn't a dick yourself the way you bellyache over things.** bellyache = to whine or complain (*RHHDAS*). 「自分だって探偵のくせに、何を文句ばかりいっているんだ」くらいの意味。雑誌版では “yourself” のあとにコンマが置かれていた。⁴⁶⁾

514.32-33 <142.13-15> **I suppose you don't never pull the same stuff on anybody that we pulled on you?** pull something on someone = To

deceive or cheat; take advantage of (*DAS*). 前文同様、スペードだって自分達と同じようなことをするはずだと皮肉な口調でいっている。

515.6-7 <142.28-29> **I wish to God I knew half as much about this business as you smart guys think I do!** この“this business”は、現在の事件のことを指すと思われる。

515.12-13 <142.34-35> **they got him once in New York for knocking over a row of stuss-games** knock over = to enter and rob (a place) (*RHHDAS*). 「スタッシュ」は「フェロー (faro)」という(ブラックジャックに似た)ゲームを簡素化したもの。⁴⁷⁾

515.14 <142.35> **his twist turned him up** twist = A young woman (*DAS*). turn someone up = To inform; in effect, to turn someone over to the police (*DAS*).

515.14-15 <143.1> **Fallon got him sprung** spring = To get out of or released or escape from prison (*DAS*).

515.15-16 <143.2> **he did a short hitch in Joliet** hitch = a term of imprisonment. *RHHDAS* に用例としてあげられている。「ジョリエット」はイリノイ州の有名な刑務所。

515.16-17 <143.2-3> **another twist that had given him the needle** needle = annoyance, nettling, or vexation, esp. in the form of a stinging or sarcastic remark; (*often pl.*) such a remark.— usu. constr. with *give the, get the, etc.* *RHHDAS* に用例としてあげられている。

515.21-22 <143.7-8> **Dixie got in wrong with the rest of the boys** in wrong = in disfavor or trouble. *RHHDAS* に用例としてあげられている。

515.24 <143.10> **the Newport Beach Boating Club** リチャード・レイマンによれば、1927年に閉鎖された“Newport Beach Boat House”が意識されているのではないかとのことである。⁴⁸⁾

516.4 <143.28> **that lily-of-the-valley** lily = an effeminate boy or homosexual man; pansy; sissy.— usu. used derisively. Also (*joc. & obs.*) lily of the valley [or alley] (*RHHDAS*).

516.22 <144.9> **District Attorney Bryan** 本文中の注で述べたように、モデルは Matthew Brady というのが定説。ただし、根拠は(名前以外には)よくわからないものの、William Jennings Bryan (国務長官も務めた、民主党の有名な政治家)の名をあげている研究者もいる。⁴⁹⁾

516.33-34 <144.19-20> **You and the police haven't been hitting it off so well** hit it off (well) = 「《話》(人と)仲良くする、うまくやっていく」(『ランダムハウス』)。

517.2-3 <144.27> **How's tricks?** 「《話》(親しい間柄で)元気かい、調

子 [景気] はどう (かね) (『ランダムハウス』)。

517.8 <144.31-32> Anything I say will be used against me? 今日では「ミランダ警告 (Miranda warning)」として、供述前に被疑者に対して告げられる文言 (原理) が意識されている。定まった様式はないが、当該箇所は “Anything you say can and will be used against you in a court of law” といったもの。

517.20-22 <145.10-12> Mrs. Spade didn't raise any children dippy enough to make guesses in front of a district attorney dippy = crazy or silly (*RHHDAS*).

518.26-27 <146.16> Monahan welshed on something welsh = To default on or evade an obligation, esp paying a gambling debt (*DAS*).

520.7-8 <148.1-2> I heard that Thursby took Monahan out to the Orient and lost him. この “lost him” については、“lose” は意味の広い語だが、スペードが “Dead gamblers . . .” といっていることをふまえると (520.15)、“allowed his boss to be killed” というニュアンスを含むと考えていいかもしれない。⁵⁰⁾

520.13-14 <148.6> for ditching Monahan ditch = to get rid of; abandon; discard (*RHHDAS*).

520.21 <148.12> Thursby had sloughed Monahan slough = to get rid of, abandon, or discard as irksome, objectionable, deleterious, disadvantageous, outworn, or excrescent (*Webster3*).

520.25-26 <148.16-17> he . . . fell out with them fall out = to quarrel (*LDoCE*).

521.7-8 <149.2-3> It'd poop this gambler's-revenge-scenario 辞書にはこの “poop” の適当な定義が見つけがたいが、“to dump excrement on” といった意味であることは明瞭だろう。⁵¹⁾

521.25 <149.18> it's a cinch cinch = a certainty; sure thing (*RHHDAS*).

522.7-8 <150.4> by every crackpot on the city payroll crackpot = a person who is crazy, markedly eccentric, or fanatical. Now *colloq.* *RHHDAS* に用例としてあげられている。

第 16 章

524.10 <152.22-23> I declared my weight weight = importance (*RH*).

524.39-525.1 <153.16-17> You're sore because she did something on her own hook, without telling you. on (one's) own hook = on (one's) own initiative; by (oneself). Now *colloq.* *RHHDAS* に用例としてあげられている。

525.2 <153.18-19> **you haven't been so much on the level with her on the level = Honest; candid (DAS).**

525.26 <154.8> **Anything doing** do = happen. 『リーダーズ』には “Anything *doing* tonight?” (今夜何かあるのか) という例文が載っている。雑誌掲載時には、“Anything happen” となっていた。⁵²⁾

525.27 <154.9> **Luke — what's his name? — at the Belvedere** 413.10 の注で “whatshisname” は既出。「何とかという人」ということであり、ルークの姓を訊ねているわけではない。

526.2-5 <154.21-23> **He took a battered memorandum-book from a vest-pocket, licked his thumb, thumbed pages, and held the book out open to Spade.** thumb = *thumb-read*; to turn (pages) with or as with the thumb in glancing through a book, etc. *OED* に用例としてあげられている。

531.1 <159.29> **it was awful** この “it” は「状況」ではなく、直前の “Her voice” を指す。

531.20-21 <160.12> **Unless they pin you down.** pin someone down = To make someone immobile, esp to keep soldiers in place with constant or accurate fire (*DAS*). ここではもちろん比喩的な意味で使われている。

531.33-34 <160.23-24> **Uh-uh . . . but I'd guess he was Captain Jacobi** uh-uh = A spoken negative response to a question or remark; “no.” *OED* に用例としてあげられている。

第17章

533.24 <162.4> **she stirred then** この “then” は雑誌版では “them” となっており、⁵³⁾ Pocket Books (1944), Permabooks (1957), Vintage (1972) などの版では削られている。

534.1 <162.15> **Her face was chalk-white and eyeless** この “eyeless” は、目が閉じられていることを示す。

537.20 <166.1> **She's full of gas and rearing to go.** 「後ろ足で立つ」という表現は、“cab” が「馬車」だった頃をしのばせる。⁵⁴⁾

537.21 <166.2> **Swell.** swell = an expression of satisfaction. *OED* に初出例としてあげられている。

537.33-34 <166.13-14> **She's a tough racket. You can have it for mine.** racket = 「飯の種、(特に) いかかわしい商売」(『ランダムハウス』)。後半の文は単行本化にあたって加筆されたもの。⁵⁵⁾ you can have —! = (the thing or person named) is offensive, worthless, etc.; for (one's) = for (one's) lot; for (one); as far as (one) is concerned. いずれも

RHHDAS に用例としてあげられている。

537.35 <166.15> **Well, hack-drivers don't live forever.** hack = a taxicab (*RHHDAS*).

539.18-19 <168.4-5> **The juice is not on.** juice = electric current; power (*RHHDAS*). 雑誌版では “juice is” のところが “lights are” となっていた。⁵⁶⁾

540.25 <169.14> **What's the good word?** 「《米俗》《温かいあいさつの言葉》うまくいってるかい。何かいいことあった」(『ランダムハウス』)。

540.31 <169.20> **She's all up in the air.** [up] in the air = angry; excited; unnerved.— usu. constr. with *go* (*RHHDAS*).

540.34 <169.23> **I ran into a plant.** plant = Loosely, a trick, a deception; a decoy (*DSUE*).

541.2 <169.28> **a Chesterfield** chesterfield = a sofa with padded arms and back of the same height and curved outward at the top (*NOAD*).

541.8-9 <169.34> **you were out running it down.** run down = to search out; trace; find (*RH*).

541.19-20 <170.10> **outside of the police** outside of = 「《通例疑問文・否定文》……以外では、を除いては、のほかに」(『ランダムハウス』)。したがって、541.21-22 の “That boy . . . was there” の “there” は警察ではなく、スペードのオフィスを指す。

541.31 <170.22> **He's a bad egg, that lad — poison.** bad egg = A villain, criminal, or other deplorable person; poison = A situation, person, event, etc, that portends harm and evil (*DAS*).

541.35 <170.25> **You'd better hit the hay. You're all in.** hit the hay = To go to bed; all in = Tired; exhausted (*DAS*).

第 18 章

543 <172> (Title) **The Fall-Guy** fall guy = Orig. *Und.* a person who must take the blame for the actions of confederates; (*broadly*, now commonly) a scapegoat (*RHHDAS*). アガサ・クリスティの『予告殺人』(1950)においては、ミス・マーブルがハメットに言及しつつ、“A ‘fall guy,’ if I understand it rightly, means someone who will be blamed for a crime really committed by someone else” と述べている。⁵⁷⁾

546.2-3 <175.18> **somebody they can stick for those three murders.** stick = 「《話》〈人に〉(……を) 押しつける」(『ランダムハウス』)。

546.23-24 <176.3> **somebody they can hang the works on.** hang = to

- fix blame for.— constr. with *on* (*RHHDAS*).
- 546.36** <176.14> **you chumps** chump = a fool; dolt; sucker (*RHHDAS*).
- 546.38** <176.16> **my name's Mud.** someone's name is mud = One is in trouble; one is doomed (*DAS*).
- 547.17** <176.32> **you'll land on your feet** on one's feet = in a position to go on; in an established position or state; in a recovered condition (as from illness); at a stage of being able to resume work or activity (*Webster3*).
- 547.23-24** <177.3-4> **but the next time I tried to put over a fast one they'd stop me so fast** fast one = [perh. org. alluding to a fastball in baseball] a quickly accomplished and unscrupulous deception.— usu. constr. with *pull* or *put over*. *RHHDAS* に用例としてあげられている。
- 548.1** <177.19> **a fresh clew** clew = clue. 雑誌掲載時は “clue” の綴りが用いられていた。⁵⁸⁾
- 548.6-7** <177.23-24> **Jesus! You don't know what it's all about either** know what it's all about = to have mature or sophisticated knowledge of life in general; know the score. *RHHDAS* に用例としてあげられている。
- 548.8-9** <177.25> **They're lying low, waiting.** lie low = to do nothing until the right opportunity develops; bide one's time (*RH*).
- 549.10** <178.29> **Let him talk his head off.** one's head off = To one's utmost; extremely much; spectacularly (*DAS*).
- 550.28-29** <180.14> **He'll be tickled pink** tickled to death (or pink) = Very much pleased; happy as can be (*DAS*). 雑誌掲載時は “tricked to death” だった。⁵⁹⁾
- 550.30** <180.15-16> **a lot of chewing-gum** chewing gum = empty talk (*RHHDAS*). 雑誌掲載時は “hooey” とされていた。⁶⁰⁾
- 550.34-35** <180.20> **he can get a conviction standing on his head.** do something [standing] on (one's) head = to do (something) with ease (*RHHDAS*).
- 551.22** <181.9> **go for your heater!** heater = *Und.* a handgun; pistol (*RHHDAS*). ある批評家は、“go for your heater” (= draw your gun) という表現は、1928 年頃に突然流行したフレーズであると指摘している。⁶¹⁾
- 551.25-27** <181.12-13> **The boy said: “You bastard, get up and shoot it out if you've got the guts. I've taken all the riding from you I'm going to take.”** riding = *U.S. colloq.* An act of provoking, teasing, or annoying a person; adverse criticism; esp. in *to get* (also *take*) *a riding*. *OED* に用例としてあげられている。

551.29 〈181.15〉 **Young Wild West** 1902年創刊の *Wild West Weekly* が擁した主人公 Young Wild West への言及だろう。1920年代の前半には人気は衰えていたが、1927年に同誌の出版元が変わると、主人公の名を Billy West としてシリーズは続けられた。⁶²⁾ *The Oxford Companion to Crime and Mystery Writing* の “The Western” の項目によれば、『ブラック・マスク』においても多くのウェスタン小説が(1930年代に入っても)掲載されていた。

551.40 〈181.25〉 **Make him lay off me then.** lay off = To desist from (doing something); to abstain from or stop using (something); to stop bothering or pestering (a person). Also *intr.*, freq. as *imp.*: cut it out! stop it! *OED* に用例としてあげられている。

552.1 〈181.25-26〉 **I'm going to fog him** fog = [*Western by 1920s*] To attack; shoot (*DAS*). 雑誌掲載時には “plug” となっていたのを変更したのは、⁶³⁾ “fog” の方が「ウェスタン」的だと考えたのだろう。

553.11 〈183.2-3〉 **she can be rigged for that part** rig = to put in proper order for working or use (*RH*).

553.24 〈183.14〉 **Like hell I must.** 前文の “You must take into consideration . . .” というガットマンの台詞を受け、強く反発している。“Like hell” という否定表現については、480.17 に付した注を参照。

554.21 〈184.16〉 **these pocket-edition desperadoes** pocket edition = a miniature form of something (*Webster3*). ウィルマーとカイロが小柄であることをからかっている表現。

555.15 〈185.13〉 **you're a pip!** a pip (or a pipparoo or a pippin) = A person or thing that is remarkable, wonderful, superior, etc. (*DAS*). 雑誌掲載時は “darb” となっていた(意味は同じである)。⁶⁴⁾

556.9 〈186.9〉 **I pasted him.** paste = To hit; strike very hard (*DAS*).

第19章

558.11 〈188.22〉 **Like hell we'll let him walk out on us** walk out on someone or something = To abandon (*DAS*). like hell という「強い否定」は 480.17, 553.24 など既出。

558.12 〈188.23〉 **he'll go in.** in = to or into prison (*RHHDAS*). 直前の “He'll either come in or” に形を揃えた表現。

559.19-21 〈189.31-33〉 **he's not a fall-guy unless he's a cinch to take the fall. Well, to cinch that I've got to know what's what.** cinch (n.) = a person who is easily overcome or imposed upon (*RHHDAS*). 521.25 に付した注も参照。cinch (v.) = To make certain of (something); to

- render (something) conclusive. *slang*. *OED* に用例として引かれている。
- 559.22-23 <189.34-35> You're not going to be sitting so damned pretty if you leave him with an out.** be sitting pretty = To be in a superior and very pleasant position (*DAS*). out = a way of evading responsibility, blame, or the like; a way out of difficulty; (*hence*) an excuse (*RHHDAS*).
- 560.2-3 <190.19-20> an uncommonly difficult person to get the best of** get [have] the best of = 「〈人〉を出し抜く」(『大英和』)。
- 560.28 <191.9> gave him the works** give (one) the works = to harm, beat up, or even to kill (*DSUE*).
- 561.33 <192.15> En route** en route = on or along the way (*Webster3*).
- 561.37-38 <192.19> You touched off the boat** touch off = to light a fire, especially if arson (*New Partridge*).
- 562.6-7 <192.26-27> we can also hang an arson-rape on him.** rape = A rebuke; blame; responsibility (*DAS*). 雑誌版では“arson charge”となっていた。⁶⁵ “hang”については、546.23-24に付した注を参照。
- 562.19 <193.2-3> he ran right plumb smack into Captain Jacobi** plumb = As an intensive: quite; completely (*DSUE*). run smack into = 「……と正面衝突する」(『大英和』)。
- 563.20-21 <194.7-8> If you . . . start cutting up** cut up = To behave frivolously; be rowdyish (*DAS*).
- 566.11 <197.5> “Stand for —?”** 前文の“frisk” (= *Und.* a search, as of a person or a room [*RHHDAS*]) の意味がわからなかったのだと思われるが(実際、次の文でスペードが“I’m going to search you”といい換えている)、その語自体は(動詞として)スペードはガットマンの前で使っている(543.9-10)、とぼけているだけかもしれない。
- 566.23-24 <197.17> you passed the test with flying colors** with flying colors = In a bold and assured way; grandly (*DAS*).
- 567.14 <198.8-9> the money-end** end = a share (of profits or responsibility) (*RHHDAS*).
- 569.31 <200.29> bring it to me — p.d.q.?** PDQ = Pretty damn quick (*DAS*).
- 569.33 <200.31> The street-door-bell rang at ten minutes of eight.** of = 「〈何時〉(……分)前(to)」(『大英和』)。なお、雑誌掲載時には、この文の前に1行スペースがあった。⁶⁶
- 571.33 <202.32-33> call each other names?** call (a person) (bad) names = 「(人の)悪口を言う、ののしる」(『大英和』)。

572.22-23 <203.23-24> **I held up my end.** keep [hold] up one's end = 「《口語》責任を果たす、立派にやっつてのける」(『大英和』)。

第 20 章

574.23-24 <206.2-3> **They've just left here and and they're blowing town** “and” の重複は誤植だろう (Vintage 版などでは重複はない)。blow = To leave; depart (DAS)。

574.25 <206.4> **they're expecting a pinch** pinch = an arrest (Routledge). 動詞としては 407.33 など既出。

574.30 <206.8> **Step on it** step on it = To accelerate; hurry; speed up (DAS)。

575.13 <206.24> **I'm in this with you and you're not going to gum it.** gum = to spoil, botch, or interfere with.—usu. constr. with *up*. RHHDAS に用例として引かれている。

576.16 <207.31> **He was a sucker for women.** sucker = An easy victim; dupe (DAS)。

576.17-18 <207.32-33> **once a chump, always a chump.** “chump” は 546.36 で既出。“Once a . . . , always a . . . ” はことわざ風に使われる紋切型の表現。例えば “Once a beggar, always a beggar” であれば「乞食は 3 日やったらやめられない」である。アメリカ文学で最も有名な例は、「第三講」で引用した『響きと怒り』の “Once a bitch always a bitch” というものだろうか。

577.10 <208.29> **You'd told us Thursby was a bad actor.** bad actor = a troublemaker; a habitual brawler; a dangerous individual (RHHDAS)。

577.18 <209.1-2> **on your say-so** say-so = permission (LDoCE)。

577.20-21 <209.3-5> **He'd've . . . gone grinning from ear to ear** この文章の “go” は状態の変化を表す動詞ではなく、「行く」という動作を意味する。この段落を通してそのような意味で用いられているし、また、雑誌掲載時には “grinning from ear to ear” の部分はなかった。⁶⁷⁾

577.29-30 <209.12-13> **The police will be blowing in any minute** blow in = To arrive and enter, esp from a distance (DAS)。

578.28-29 <210.12-13> **one or the other of them would go down.** go down = to undergo defeat or overthrow (Webster3). 雑誌掲載時には “go down” ではなく “be killed” とされていた。⁶⁸⁾

578.36-37 <210.20-21> **you had that plan up your sleeve from the first.** up one's sleeve = held secretly in reserve (Webster3)。

579.24 <211.13> **I'm going to send you over.** ある研究者が指摘して

いるように、“send you *over*”は“send you *up*”とするのが一般的なようである。⁶⁹⁾ Cf. send up = To send someone to prison (DAS).

579.24-25 <211.13-14> The chances are you'll get off with life. get off = to escape from a dangerous situation or from punishment (Webster3). life = 「終身刑 (life sentence)」(『大英和』)。

580.13 <212.5> I won't play the sap for you. 以後何度も繰り返される台詞(ただし“sap”という語は458.29に既出)。おおよその意味は“I'm no fool, you can't take advantage of me”ということ。⁷⁰⁾

581.14-15 <213.9-10> I won't walk in Thursby's and Christ knows who else's footsteps. walk in a person's footsteps = 「人の例に倣う」(『大英和』)。

581.15 <213.10-11> You killed Miles and you're going over for it. go over = to be sent to prison (RHHDAS).

581.16-17 <213.11-12> by . . . standing off the police stand off = to hold at a distance: keep from advancing (Webster3).

582.26-27 <214.22-23> you'd played me for a sucker. play someone for a sucker = To take advantage of someone's gullibility, greed, etc. (DAS).

583.33 <215.31> them.' 二重引用符になっていないのは誤植だろう(Vintage版にはこの誤植はない)。

584.8 <216.10> I'd been stringing Gutman. string = To deceive; fool; hoax (DAS).

584.26-27 <216.26-27> So much for your woman's intuition. so much for = 「《軽蔑》……とはそんなもの」(『大英和』)。

語注補遺への注

- 1) Miller 50.
- 2) 各務 16-17 頁。
- 3) 小鷹信光『ハードボイルド・アメリカ』(河出書房新社、1983年) 86 頁。
- 4) 小鷹『サム・スペードに乾杯』26-27 頁。
- 5) Layman, *The Maltese Falcon* 181.
- 6) Dashiell Hammett, “The Maltese Falcon,” *Black Mask* Sept. 1929: 11.
- 7) 各務 221-22 頁。
- 8) Hammett, “The Maltese Falcon,” *Black Mask* Sept. 1929: 13.
- 9) Layman, *Discovering The Maltese Falcon* 239.

- 10) John Huston, *The Maltese Falcon*. 10 May 2009 <http://www.dailyscript.com/scripts/Maltese_Falcon.pdf>.
- 11) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Sept. 1929: 21.
- 12) 丹羽隆昭『クルマが語る人間模様——二十世紀アメリカ古典小説再訪』(開文社出版、2007年) 23頁。
- 13) ジョン・B・レイ『アメリカの自動車——その歴史的展望』岩崎玄、奥村雄二郎訳(小川出版、1969年) 62-63、92-93、142-43頁などを参照。
- 14) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Sept. 1929: 24.
- 15) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Sept. 1929: 26.
- 16) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Sept. 1929: 26.
- 17) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Sept. 1929: 27.
- 18) Layman, *The Maltese Falcon* 181.
- 19) M.C., "Feminine Fashions," *New Yorker* 1 Sept. 1928: 46; 29 Sept. 1928: 58.
- 20) Miller 76-77.
- 21) レイ 158頁。
- 22) W. Miller 83も参照。
- 23) Foster Ware, "Mr. Hoover's Smokes," *The New Yorker* Mar. 23, 1929: 13.
- 24) 小鷹信光「解説」『マルタの鷹』ダシール・ハメット、小鷹信光訳(ハヤカワ・ミステリ文庫、1988年) 331頁。
- 25) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Nov. 1929: 42.
- 26) D. Hammett, *Crime Stories* 911.
- 27) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Nov. 1929: 44.
- 28) Gilles C H Nullens 82-83頁を参照。
- 29) W. Miller 98を参照。
- 30) Nullens 79-80頁。
- 31) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Nov. 1929: 49.
- 32) R. Miller 251.
- 33) R. Miller 251.
- 34) R. Miller 251.
- 35) レジーヌ・ペルヌー『テンプル騎士団』橋口倫介訳(文庫クセジュ、1977年) 18頁。
- 36) R. Miller 251.
- 37) R. Miller 251.
- 38) R. Miller 251.

- 39) R. Miller 251.
- 40) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Nov. 1929: 50.
- 41) R. Miller 251.
- 42) R. Miller 251.
- 43) R. Miller 251-52.
- 44) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Nov. 1929: 50.
- 45) McGurl 707-08.
- 46) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Dec. 1929: 75.
- 47) Layman, *The Maltese Falcon* 182.
- 48) Layman, *The Maltese Falcon* 182.
- 49) Abrahams 240.
- 50) W. Miller 103.
- 51) W. Miller 103.
- 52) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Dec. 1929: 81.
- 53) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Dec. 1929: 85.
- 54) W. Miller 110-11.
- 55) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Dec. 1929: 88.
- 56) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Dec. 1929: 89.
- 57) Agatha Christie, *A Murder Is Announced* (New York: Pocket Books, 1951) 92.
- 58) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 33.
- 59) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 35.
- 60) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 35.
- 61) W. Miller 113.
- 62) Laurie Powers, "Discovering *Pulp Writer*," *Pulp Writer: Twenty Years in the American Grub Street*, by Paul S. Powers, ed. Laurie Powers (Lincoln: U of Nebraska P, 2007) 28.
- 63) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 35.
- 64) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 37.
- 65) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 41.
- 66) Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 46.
- 67) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 50.
- 68) D. Hammett, "The Maltese Falcon," *Black Mask* Jan. 1930: 51.
- 69) W. Miller 124.
- 70) W. Miller 124.